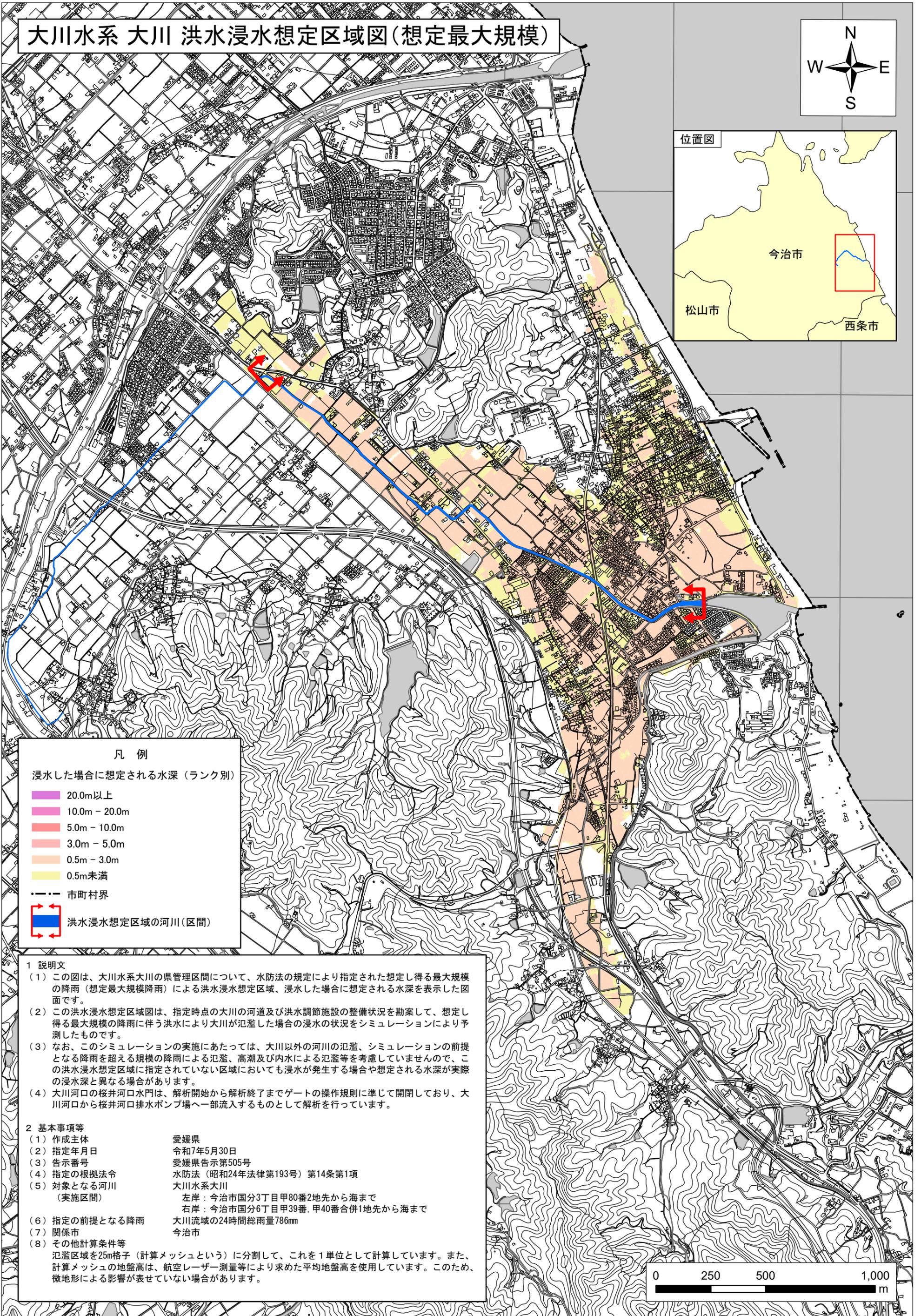
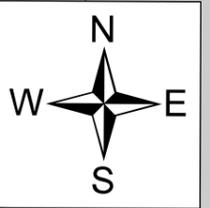


大川水系 大川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 20.0m以上
- 10.0m - 20.0m
- 5.0m - 10.0m
- 3.0m - 5.0m
- 0.5m - 3.0m
- 0.5m未満

- 市町村界
- 洪水浸水想定区域の河川(区間)

1 説明文

- この図は、大川水系大川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、指定時点の大川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、大川以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 大川河口の桜井河口水門は、解析開始から解析終了までゲートの操作規則に準じて開閉しており、大川河口から桜井河口排水ポンプ場へ一部流入するものとして解析を行っています。

2 基本事項等

- 作成主体 愛媛県
- 指定年月日 令和7年5月30日
- 告示番号 愛媛県告示第505号
- 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
- 対象となる河川(実施区間) 大川水系大川
左岸: 今治市国分3丁目甲80番2地先から海まで
右岸: 今治市国分6丁目甲39番, 甲40番合併1地先から海まで
- 指定の前提となる降雨 大川流域の24時間総雨量786mm
- 関係市 今治市
- その他計算条件等 氾濫区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

0 250 500 1,000 m